神納地域まちづくり計画

１　地域の特色、課題

神納地域は、神林地区の東部に位置し、岩野沢、山田、飯岡、桃川、河内、南大平、指合、殿岡、小出、有明の１０集落が、平野部から山間部に点在しています。

自然環境が豊かな地域で、平野部は大部分を広大な水田が占めています。山間部には大平山、木原木山があり、特に大平山は登山道が整備され、付近は星空がきれいに見える地域の日本の上位にランクインしたところです。そこに天体観測施設のポーラースター神林や南大平ダム湖公園が整備されており、登山や夏場のキャンプ、星空観測（定期公開）などに利用されています。また、石川、百川２本の川が流れ、上流ではホタルの舞う清流域となっています。

主な産業は農業で、圃場整備された水田での稲作が盛んに行われており、神林地区の岩船産コシヒカリの主要産地になっていますが、年々農業従事者数は減少しています。

地域の人口は、住民基本台帳で比較すると平成 24 年１月１日の 2,026 人から平成 30 年１月１日の 1,796 人と 230 人（減少率 11.3%）減少しており、子供の人口も年々減少しています。

各集落では、平成 24 年度から「市民協働のまちづくり」が始まり、集落内での交流会などを通じて、年々子供からお年寄りまでの交流と親睦が少しずつ図られてきていますが、生活の多様化により、地域に愛着はあるものの、なかなか地域の行事に参加できない若者や女性もいることもわかりました。これらの方々も参画しやすく、意見も反映できるまちづくりが課題となっています。

２　地域まちづくりの基本方針、将来像（目標年度：平成 32 年度）

恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支え合いながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

３　具体的な取り組みの方向性、実施事業等（計画年度：平成 30 年度～平成 32 年度）

基本方針	取　り　組　み　の　方　向　性
恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支え合いながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。	集落での取り組みを重視し、集落内での交流会などを通じて交流を図り、住民意識の向上と参加者の増を図る。 ・地域交流を深めるため、地域全体でのイベントを開催する。 ・まちづくりを更に活性化させ、若者や女性の意見も積極的に取り入れるための情報収集活動として、視察や研修、講演会などの開催を検討する。また、住民の健康増進を図るための研修や講習会、講演会を開催する。 ・他まちづくり協議会との連携をはかる。また、他団体の事業へ積極的に参加する。

４　事業計画年度

基本方針	事業項目	実施年度			備　考
		30	31	32	
恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支えあいながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。	集落内での交流会の開催	→	→	→	
	地域全体でのイベントの開催	→	→	→	
	まちづくり活性化のための視察や研修、講演会などの開催の検討、住民の健康増進	→	→	→	
	他まちづくり協議会との連携、他団体事業へ積極的な参加	→	→	→	